

(お知らせ)

令和5年11月2日
防 衛 省

フィリピンへの警戒管制レーダーの移転について

防衛省は、防衛装備移転三原則の下、官民一体となって、防衛装備品の移転に向け取り組んでまいりました。

このような中で、初の完成品移転案件として、2020年にフィリピン国防省と三菱電機(株)の間で同社製警戒管制レーダーを納入する契約が成立しておりましたが、今般、当該契約に基づく1基目のレーダーがフィリピン空軍に納入されました。引き続き、残りのレーダーの納入に向け、官民一体となり取り組んでまいります。

我が国にとってフィリピンは、基本的価値を共有する戦略的パートナーであり、フィリピンとの防衛装備・技術協力を推進することは、我が国及び地域の平和と安定の確保においても重要です。引き続き両国間での連携を強化してまいります。

以上

1 契約の概要

- 契約当事者
フィリピン側：フィリピン国防省
日 本 側：三菱電機(株)
- 契約金額
約1億ドル
- 契約内容
 - ①納 入 物：レーダー等
 - ②契約成立日：2020年8月25日
- レーダーの概要
フィリピン空軍の要求に基づき、航空自衛隊固定式警戒管制レーダー装置（J/FPS-3）及び陸上自衛隊対空レーダー装置（JTPS-P14）を開発・製造した経験を踏まえ、三菱電機において新たに開発・製造するもの



納入された警戒管制レーダーFPS-3ME

2 契約履行に係る推移

- 2020年 8月 契約締結
- 2022年10月 1基目レーダーの国内製造完了
- 2023年10月 1基目レーダーの納入（今回）